

大和人権文化センターだより

編集／三原市大和人権文化センター
住所／三原市大和町下徳良107番地1
電話／問い合わせ0847-33-1308

2011大和人権大学を開催しました

東日本大震災で多くの尊い命が奪われ、そして今なお、原発事故の放射能汚染で多くの人が苦しんでいます。

そこで、大和人権大学では、年間講師に三次市の西善寺住職 おだけしょうきょう 小武正教さんを迎えて、「命のひろがり」と言う年間テーマで、「命」や「人のつながり」について考えました。



6月14日（火） 2011年度大和人権大学の開講です。

年間講師の小武正教さんに、年間テーマと同じ「命のひろがり」という演題で講演をいただきました。

押し付けたり、奪ったりすることで人権は侵害されること（原発も押し付けられたもの）、また、東日本大震災などでボランティア活動をされるなかで出合った人との「顔の見える関係」について、そして、自分の周りの人との絆についてお話されました。



7月9日（土） 「社会を明るくする月間」に開催した人権講演会です。

講師に広島県朝鮮人被爆者協議会会長の李実根（りしるぐん）さんを迎え、「被爆者の立場から—広島・福島—」という演題で講演会を開催しました。

被爆直後の広島市の様子や、放射線の怖さも分からず入市して原爆症で死んでいった仲間のお話や、自身も被爆し朝鮮人であるため治療もされなかったお話等、講師ご本人が経験をされた貴重なお話をうかがいました。



8月22日（月） 夏休み中の小学生を対象にした「子ども学習会」です。

三原市消防署西部分署大和出張所のご協力を得て、「命を守る」学習会を開催しました。

ちょうど救急出動が有り、予定していた「ロープワーク」の実習は出来ませんでしたが、「防火のおはなし」、「けむり体験」、「放水体験」などで、地元で活躍されている消防士さんとふれ合いながら学習しました。

また、三原市の危機管理室の職員による、防災についてのお話もありました。



9月13日（火） 年間講師の小武正教さんの2回目の人権学習会です。

「死をみつめて」という演題で講演をいただきました。

東日本大震災でも多くの人が亡くなったけれど、命があれば死がある。死をどう受け入れ、乗り越え、立ち直り、新しい希望を見つけるか。

亡くなった人から受け継いできたものや続けてきた営みこそ、今・過去・未来を共に生きることである。原発事故はそれを奪ったものである等々のお話をされました。



10月20日（木） 「人権の碑 ふるさとコンサート」を開催しました。

榎型にある「人権の碑」と「からゆきさん」善道キクヨさんの係わりについて、資料を映像にまとめ、学習しました。

続いて、当センターのオカリナ教室で講師をしていただいている「志音」こと岡谷先生よる、善道キクヨさんのふるさとである大和町をイメージした、「ふるさと」をテーマにしたオカリナコンサートを行いました。舞台上に飾ったサリーの一枚は善道キクヨさんのものです。



11月19日(土) フィールドワークとして山口県熊毛郡上関町に行きました。
年間講師の小武正教さんにもご同行いただき、「豊かな自然と共に生きること」と題してフィールドワークを行いました。
祝島の漁師さんにお話をうかがい、「長島の自然を守る会」の皆さんには船で周辺の自然についてご案内をいただき、自然と共存することの大切さを学びました。
また、昼食では、手作りの炊き込みご飯のおもてなしを受けました。



12月3日(土) 人権週間に開催した人権講演会です。
講師に、セイブ・ザ・イラクチルドレン代表 大江 厚子(おおえ あつこ)さんを迎えて「未来を奪われた子どもたち—戦争で、震災で、そして放射能で奪われた子どもたちの未来を取り戻すために—」という演題で講演会を開催しました。
イラク戦争で、劣化ウラン弾の放射線により被曝した子どもたちを援助する活動を通して、子どもの「生きる権利」「育つ権利」「守られる権利」「参加する権利」について、その現状と今私たちがなすべきことを訴えられました。
なお、講演会に先立ち、「そば打ち教室」と「オカリナ教室」の生徒が、日頃の練習の成果を発表しました。



「そば打ち教室」昼食会
習って練習はしてきたけれど、やはり難しい。
でも、力を合わせて、美味しい蕎麦が出来ました。



「オカリナ教室」発表会
オカリナ教室の岡谷先生の指揮で演奏しました。
緊張したけど、心温まる演奏が出来ました。



1月9日(月) 年が明けて最初の人権学習会です。
講師に、姜 智子(かん ちじゃ)さんを迎えて、「元気の出る保存食づくり—本格キムチとピビンパづくり—」の実習をしました。
本場のコチジャンの作り方を教わり、韓国の家庭の味のキムチとピビンパを作り、ピビンパは参加者全員で昼食にいただきました。
また、昼食会場では、在日韓国人として生きている現状をお話していただきました。



2月14日(火) 年間講師の小武正教さんの3回目の人権学習会です。
今年度の大和人権大学も最終回、総括をする意味も込めて、「生きていく命」という演題で講演をいただきました。
多くの犠牲の上に一部の豊かさを築き上げる仕組みが有る世の中であるが、人間の幸福は「自然と文化を大切にしながら、公平な分かち合いの中で暮らしていく社会」ではないか。
出会いの大切さや、ともに生き共同し、伝えていくことの大切さを学びました。

大和人権文化センターでは、来年度も引き続き、工夫を凝らした大和人権大学を開催していく予定です。

自由に参加できる講座です。
お気軽にご参加ください。